

Mizuho Daily Market Report

2023/8/28

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.04	146.44	+0.61	+1.05
EUR	1.0771	1.0796	▲0.0014	▲0.0077
AUD	0.6417	0.6404	▲0.0013	▲0.0002
SGD	1.3566	1.3561	▲0.0005	▲0.0011
CNY	7.2884	7.2872	+0.0073	+0.0027
MYR	4.6481	4.6407	▲0.0053	▲0.0081
THB	35.13	35.10	+0.12	▲0.27
IDR	15300	15295	+50	+10
PHP	56.58	56.58	▲0.20	+0.41
INR	82.69	82.66	+0.08	▲0.45

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.235%	▲0.2 bp	▲1.9 bp
日本(10年)	0.661%	+0.5 bp	+2.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.561%	+4.8 bp	▲6.1 bp
オーストラリア(5年)	3.907%	+4.5 bp	▲5.3 bp
シンガポール(5年)	3.221%	+4.4 bp	+8.5 bp
中国(5年)	2.385%	+2.0 bp	+2.5 bp
マレーシア(5年)	3.601%	▲0.7 bp	▲3.2 bp
タイ(5年)	2.528%	+0.3 bp	+2.9 bp
インドネシア(5年)	6.353%	+4.2 bp	+13.6 bp
フィリピン(5年)	6.061%	▲2.4 bp	▲3.6 bp
インド(5年)	7.199%	+2.1 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,346.90	+0.7%	▲0.4%
N225(日本)	31,624.28	▲2.1%	+0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,236.25	+0.1%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	3,998.05	+0.0%	+0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,189.88	+0.3%	+0.5%
SSEC(中国)	3,064.08	▲0.6%	▲2.2%
KLSE(マレーシア)	1,444.41	▲0.0%	▲0.1%
SETI(タイ)	1,560.20	+0.2%	+2.7%
JKSE(インドネシア)	6,895.443	▲0.1%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,160.61	▲1.0%	▲2.1%
SENSEX(インド)	64,886.51	▲0.6%	▲0.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	278.20	+0.9%	+1.0%
金	1,914.96	▲0.1%	+1.4%
原油(WTI)	79.83	+1.0%	▲1.7%
銅	8,319.25	▲0.1%	+1.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.80	—	146.60
EUR/USD	1.0730	—	1.0880
AUD/USD	0.6330	—	0.6470
USD/SGD	1.3520	—	1.3610
USD/CNY	7.2730	—	7.3180
USD/MYR	4.6360	—	4.6880
USD/THB	34.85	—	35.20
USD/IDR	15240	—	15320
USD/PHP	56.10	—	56.95
USD/INR	82.45	—	83.00

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は146円台前半の水準でオープン。五・十日による実需の買いや米金利の底堅さを横目に146円台前半を確りと推移したが、日本株の大幅下落やハウエル議長発言を控えた中では上値追いはならず。146円台前半付近での小動きとなり、海外時間へ。アジア通貨はハウエル議長講演を控えドルが堅調に推移する中、軟調推移。特にタイ・マレーシアやインドネシアの下げ幅が大きかった。

海外時間のドル円はハウエル議長講演待ちムードとなる中、146円台前半を中心とした推移が続き、同水準を維持しNYオープン。NY時間午前中に行われた注目の議長講演では、「追加利上げは適切な場合に実施する用意がある」との発言を受け、利上げ期待の買いから小幅に上昇。しかしその後「追加利上げの是非は慎重に進めていく」との見方も示された事から、一転ドル売りが優勢となり、145円台後半まで急落する等、神経質な動きが続く。講演後は米長期金利の急上昇につれてドル買いも強まり、146円台半ばまで上昇し年初来高値を更新。その後は週末を控え値幅が限定的となる中、小動き。146円台半ばの水準にてクロス。

【金利】

米債市場はカーブがツイスト・フラット化。ジャクソンホール会合にてハウエル議長が追加利上げの可能性を意識させるやや効派的な発言をしたことを受け、中期ゾーン中心に金利は上昇。もっともその後は長期以降の年限では金利の上昇幅を全て巻き戻し、金利低下に転じた。

【予想】

本日のドル円は堅調推移を予想。先週末開催されたジャクソンホール会合ではFRBの年内追加利上げが示唆され、且つ利下げも当面見込めない現状が確認された。日米金融政策の差が改めて意識される中、ドル高地合いとなりやすいだろう。

【本日の予定】

(日本) 6月 景気動向指数(確)
(アジア) 7月 タイ 設備稼働率指数ISIC
(アジア) 7月 フィリピン 銀行貸出動向
(アジア) 7月 豪 小売売上高
(アジア) 休場 フィリピン
(欧州) 7月 愛 小売売上高
(欧州) 8月 英 全国住宅価格
(欧州) 休場 英国
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 8月 タラス連銀製造業活動
(米国) 国債入札(2Y、5Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。